

令和2年8月26日(水)、栃木県知事に「令和3年度看護政策に関する要望書」を提出しました。



左から、鱒淵専務理事、海老名保健福祉部長、朝野会長、渡邊常任理事

令和2年8月26日(水)、朝野春美栃木県看護協会会長は、栃木県庁を訪問し、海老名英治保健福祉部長に、「令和3年度看護政策に関する要望書」を提出し支援をお願いしました。海老名部長からは、当協会の要望を踏まえこれから来年度予算編成に取り組んでいくとの回答がありました。

【要望事項】

要望Ⅰ 看護職の養成及び人材育成に関する事項について

- 1 看護職員の教育研修事業への継続支援
- 2 看護基礎教育の4年制化の推進
- 3 感染管理認定看護師等の資格取得の支援

要望Ⅱ 看護職の確保・定着に関する事項について

- 1 プラチナナース等の就業促進事業
- 2 ナースセンター事業の強化

要望Ⅲ 在宅医療の推進に関する事項について

- 1 訪問看護人材育成と質の確保
- 2 訪問看護の効率的・安定的な提供体制の整備

要望Ⅳ 新型コロナウイルス感染症等の感染管理に対する体制の整備について

- 1 感染管理認定看護師等の組織化及び施設への訪問指導事業の創設
- 2 保健所機能の強化

その他の事項

- 1 保健師の人材育成と確保
- 2 医療的ケアを学校において安全に実施するための体制整備